

新発田市 令和6年度 第10回定例記者会見

1 日 時 令和7年1月10日(金)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○ももクロ春の一大事 2025 in 新発田

○SHIBATA Rice Lager の国内初販売について

○全国各地のオリジナル雑煮が大集結！

○商店街の活性化に取り組む地域おこし協力隊が着任します

○「まちづくりドラフト会議 for youth(新発田市内探求学習成果発表会)」
開催

【その他】

○新発田城で避難訓練・放水訓練を実施

○子どもたちあつまれ！★★チキンドリアを作ってみよう★★

あいさつ

○あけましておめでとうございます。ここにきて少し雪が降りましたが、この程度の雪であれば、市民の皆さんの生活に支障をきたさないので、ぜひこの程度で終わってほしいと思っております。その意味では、市民の皆さんも、記者の皆さんも穏やかな幕開けになったのではないのでしょうか。去年は、大変な幕開けでありましたので、平穏な日々を改めてありがたいと感じているところであります。

○私は毎年一つの言葉を胸に刻んでまち作りをしております。今年「挑」としました。乙巳年は、努力の積み重ねによって、社会が安定するという例えもあるようですが、そうはいかないのではないかという気がしております。それは、少数与党という今まであまり経験のない政治体系が生まれているということでもあります。それを象徴するように103万円の問題でまだ政治決着に至っていないということでもあります。一方、海を越えてはトランプ大統領の再任ということで、これもまた内憂外患の様を呈しています。その意味では、この1年を物分りよくまとめしていくというような手法ではなくて、むしろ挑み、つかみ取っていこうという気概が必要ではないかということで、今年1年の言葉として「挑」を取り上げたところであります。しっかりとそういう1年になるように心がけたいと思います。

○12日には、冬の風物詩となっている雑煮合戦が行われます。ぜひこのイベントで市民の皆さんの身も心も温かくなってほしいと思っております。そして雪解けを待って、ももクロのコンサートが行われ、2日間で約2万人を想定しております。この日は新潟市でも大きなコンサートがあるということですから、この2日間は新潟市も含め阿賀北もしかすると下越の温泉地はすでに満室だと思えます。湯沢あたりまで予約が入っているという話も聞きますので、ぜひ盛り上げていただきたいと思

います。また6月には、あやめを市花としている、あるいはあやめをクローズアップしている市町村長さんをお招きしてあやめサミットを開催します。2025年はスタートダッシュを決めて、激動の2025年を乗り切っていこうと考えておりますので、ぜひ一つでも多く記事に取り上げていただいて、まち作りにご協力をいただきたいと思いますと思っていますところであります。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、「ももクロ春の一大事 2025 in 新発田」についてです。

- あの「ももクロ」が新発田市にまいります！人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」のライブイベントを、4月12日、13日の両日、五十公野公園を会場に開催します。
- このイベントは、ももクロによるまちおこしのライブ活動であり、公募によって選ばれた自治体が会場を提供し、イベント事業者が出演料やステージ経費を負担するものであります。
- 一昨年と昨年、お二人の市民からいただいた「市長への手紙」をきっかけにイベントの詳細を知ることとなり、調査研究を進めてきました。2025年の新発田市は、7回目の開催となります。
- このたび、全国20自治体から応募があったと聞いていますが、当市が選ばれた理由としましては、街の雰囲気や駅から会場までのアクセスのよさ、広大な駐車場を使つての経済的なイベント運営のほか、私としましては、東洋一といわれた加治川堤桜の植樹から100周年を迎える今年、時期が合えば、満開の桜を愛でながら、桜の桃色と、ももクロの桃色をかけて開催ができることでもあります。
- 1日10,000人、2日で20,000人以上の入込が見込まれることから、宿泊、飲食、お土産をはじめ、大きな経済効果が期待できます。今月中には、商工観光関係者と（仮称）開催準備委員会を立ち上げ、メンバーによる観光地巡りやコラボ商品の開発、新発田牛や越後姫等の特産品の発信など、民間事業者の創意工夫を生かしながら、まち全体を盛り上げていきます。
- 先日、私も動画の撮影を行いました。が、「モノノフ」といわれるファンの皆様がワクワクするような取組となるよう、関係者で知恵を絞り、観光振興や経済活性化を図ってまいります。

次に、SHIBATA ^{ライス ラガー} Rice Lager の国内初販売についてです。

- 新発田市の代名詞と言え「米の輸出」であります。この度、ハワイに輸出した新発田産米を使ったビール『シバタ ライス ラガー』が国内で初めて販売されます。
- これまではハワイのみでの販売でしたが、製造先であるマウイ ブリュウイング社と、かねてより親交のあるナガノトレーディング社にご尽力をいただき、初の国内販売が実現しました。何よりも商品名にローマ字で「シバタ」とロゴが入っているところが私自身、大変気に入っています。
- 販売開始時期は1月下旬頃を予定しています。市内飲食店での取扱いをはじめ、各種イベントでの物販やふるさと納税返礼品とするなど、「米どころ新発田」を大いにアピールする新たなPRツールとして活用してまいります。
- ふるさと納税では、寄附額 18,000 円、6 缶セットを返礼品としたものを12月から先行スタートしております。今後、様々なイベントで登場いたしますが、直近では、次の会見項目となります、全国雑煮合戦の新発田物産ブースにて予約販売を実施します。その他、首都圏の一部店舗での販売も予定しております。
- 数量限定ですので、無くなり次第終了となります。新発田産米が姿を変えて里帰りした、「シバタ ライス ラガー」をぜひ多くの方に楽しんでいただきたいと思います。

次に、「全国各地のオリジナル雑煮が大集結！」についてです。

- 新発田の冬の風物詩である「城下町しばた全国雑煮合戦」が第21回を迎え開催されます。今年は、しばたで最もホットなエリアである蔵春閣をはじめとする新発田駅前に会場を移し、1月12日（日）に開催します。
- 県内各地をはじめ、県外からオリジナル雑煮を擁する約40店舗が集結し、優勝雑煮「征夷大將軍」を決定します。また、雑煮を食べてスタンプを集める「デジタルスタンプラリー」、「お年玉くじ引き」、「ステージショー」など、楽しいイベントも盛りだくさんです。
- さらに、駅前通り商店街では、「喜八郎さん^{まつり}祭」を同時開催中ですが、雑煮合戦とコラボして、当日には、商品券や雑煮合戦割引券が当たるガラポン抽選会を開催していただきます。
- 盛りだくさんの内容で、当日は大変混雑が予想されますので、舟入にありますコメリパワー新発田店さんの臨時駐車場から出発するシャトルバスや公共交通機関を御利用いただくようお願いいたします。
- 寒い季節が続きますが、温かい雑煮とイベントの熱気で、新発田の冬を満喫いただければと思います。

次に、商店街の活性化に取り組む地域おこし協力隊についてです。

- これまでも中心市街地の活性化を商店街と連携しながら取り組んでまいりましたが、関係団体の皆様が口をそろえて言う課題が「担い手不足」であります。
- この度、その課題を解決し、商店街の活性化に取り組む新たな地域おこし協力隊が、「まちづくりサポーター」として着任することとなりました。
- この隊員のミッションは、商店街へ人の流れを創るためのイベント開催や、活気があふれるまちにするべく新発田市の中心市街地の空き店舗への誘致や利活用の企画運営です。活動にあたっては、まちづくり団体などと連携した市街地活性化や、まちの魅力の情報発信に取り組んでもらいます。
- まちづくりには「若者」「よそ者」「ばか者」が必要と言われます。新たに着任する方も若く新発田のまちなかをよくしたいというアイデアと熱意をお持ちの方だと聞いております。これからの市街地がどう変化していくのか大いに期待しています。
- 1月29日（水）、午前9時から副市長室にて辞令交付を行いますので、記者の皆様におかれましてはぜひご臨席ください。

最後に、まちづくりドラフト会議^{フォー ユース}for youth」の開催についてです。

- 市内の高校や大学に通う若者たちを対象に、地域や身の回りの課題について具体的な解決策を考え、自ら提案する発表会を、2月4日（火）に市民文化会館で開催します。
- これは、若い方々がまちづくりに参画する機会を創り、事業を通じて、自分たちが暮らすまちの魅力にあらためて気づき愛着を深めてもらうことを目指すものです。
- 多くの教育機関を持つ「若者のまち しばた」のイベントとして平成30年度に始まり、今回で7回目を迎えますが、行政主導でスタートしたこの事業も、昨年度からは高校生が発表会の運営を担うなど、今では若者主体の取組へと進化しております。
- さらに今年度は、これまでの「行政から提示した課題」や「若者視点による自由課題」に加え、新たに、当市と包括連携協定を締結する企業からも、若者と一緒に取り組みたい課題を募集し、この「企業課題」に対する提案も対象とするほか、令和6年4月に市内にキャンパスを開設された通信制高校「さくら国際高等学校」にも参加いただくことにより、内容や規模においても、これまでの会議をさらにバージョンアップさせました。
- 学生たちは、授業や放課後の時間を活用して、市職員や民間事業者から話を聞いて探求を深め、校内発表を通じて提案内容のブラッシュアップを図るなど、発表会本番に向け積極的に活動されていると聞いております。
- 皆様にもぜひお越しいただき、若者たちのアイデアやエネルギー、そして当市が目指す『若者との協働によるまちづくり』をご覧くださいませようお願いします。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。